

## Santen が目指す New Normal 下での新たな働き方について

当社は、COVID-19が世界的に猛威を振るう中、眼科領域におけるスペシャリティ・カンパニーとして、眼に関するさまざまな治療選択肢を世界中の患者さんにお届けし続けることを最優先に取り組んでまいりました。COVID-19がもたらした不都合を受け入れながらも、新しい世界が日常になりつつある今、この変化にいち早く対応し、当社ならではのNew Normalな働き方を、世界の全社員一丸となって創造することが不可欠だと考えています。

COVID-19の拡大防止に向け、オフィスワークの社員は、原則テレワークでの勤務形態やオンライン会議をはじめとするリモートベースのコラボレーションへ移行、また営業職の社員においては、現場を訪問せずともオンラインの活用により情報収集・情報提供を行う等、新しいワークスタイルの構築が進められました。一方、生産・物流関連や研究開発職の社員は、安全衛生に細心の注意を払いながら業務を遂行する等、厳しい状況においても社員一人ひとりが工夫を重ねながら、取り組んでまいりました。

この3ヶ月余り、日本はもとより世界中の人々が、COVID-19の急激な拡大と、経済社会活動における甚大な環境変化に直面しました。その間の私たちの働き方を振り返ると、事業継続と製品の安定供給を第一に、柔軟性を最大限発揮しながら、日々変わりゆく社会環境に適応し、新しい標準を創るに十分な成果の出し方、さらには生産性を維持向上させる可能性について、証明することができたと感じています。

ここから得られた気付きや学びをもとに、どうすればより良い職場環境を実現できるのかについてアイデアを出し合いながら、下記の方針のもと、当社ならではのNew Normalな働き方をグローバル社員全員で創り上げてまいります。

### 【方針】

- オフィスは出勤する場所ではなく、業務遂行上の一つの選択肢として「人につながる場所」と位置付ける
- 労働時間より生産性、努力より成果を重視し、職務やプライベートのニーズに応じた多様な働き方、考え方を尊重できる勤務形態を構築する
- 業務継続性を最大限担保するための安全で衛生的な職場環境づくりと、それを支える最新テクノロジーの活用を推進する
- デジタルテクノロジーの活用により、世界中のお客様やお取引先、社員同士がよりタイムリーにつながる体制を構築する
- 地球環境に対する負荷を軽減し、持続可能性を高めた仕事の進め方を推進する

Santen が目指すのは、所在を問わず、世界中の社員がこれまで以上にオンラインでつながった新しいコラボレーションの在り方、そして職制とライフスタイルに応じた個々の志向性を尊重しつつ、安心して働けるインクルーシブな環境です。各国/地域の状況に応じた制度と環境づくり、業務プロセス改革を進めるとともに、デジタルテクノロジーを駆使し、新しい発想による革新的な働き方を追求しながら、Back to normal ではなく、New Normal への変革を実現してまいります。こうした変革への挑戦をグローバルで実現させ、患者さんへのより一層の貢献、そしてビジネスの成長へと着実につなげてまいります。

2020年6月23日  
参天製薬株式会社  
代表取締役社長兼 CEO  
谷内樹生

